

# 高田短期大学通信

TAKADA JUNIOR COLLEGE

高田短期大学通信 第50号 2015年(平成27年)6月12日 発行 高田短期大学・編集 図書委員会

## 「適格」の認証を受ける

学長 栗原 廣海



本紙が発行される頃、紫陽花は競って大輪の花を咲かせ、前期の授業はほぼ半ばにさしかかって、新入生の皆さんの学業への意欲も、いよいよ開花してきているのではないだろうか。

昨年度、本学は、「一般財団法人短期大学基準協会」が実施する第三者評価を受けました。評価は、書面調査と訪問調査により行われます。書面調査は、大学の教育活動全般にわたって、大学自らが点検した結果を一冊の報告書にまとめた『自己点検・評価報告書』によって行われ、訪問調査は、報告書に書かれている内容を確認したり、報告書に書ききれない教育活動や施設の実際を直接確認するために、評価員が評価校を訪問することによって行われます。

本学は昨年九月上旬、四名の評価員の訪問を受け、本学の施設設備を視察していただくとともに、『自己点検・評価報告書』に基づく面接調査を二日間にわたって受け、本学の教育活動全

般にわたって、その充実ぶりを理解していただくことができました。その結果は「短期大学基準協会」で審議され、本年三月十二日付で「適格」との評価を受けることができました。また、評価のなかで、本学の数々の取り組みのうち、①建学の精神と教育の理念に則った教育実践、②「キャリアアカルテ」を用いた全学的学生支援、③「教員活動自己点検・評価とそれに基づく教員評価」をおしての教育改善、④「ラーニング・コモンズ」と「ITコンシェルジュ」による学修支援、⑤教員の積極的な外部資金獲得を、「特に優れた試みと評価できる事項」として取り上げていただきました。これを励みに、今後ますます充実した学修支援を展開していきたいと考えています。評価文はHPに掲載していますので、ぜひ読んでみてください。

さて現在、文部科学省では、高大接続に関する中央教育審議会の答申を受けて策定された「高大接続改革実行プラン」に基づき、高大接続改革の実現に向けた具体的な方策が検討されています。そのなかで、大学教育の改革の一環として、「三つのポリシー」の一体的な策定の義務づけを通じて大学教育の質の向上」が提言されています。本学では以前より一体的なものを策

定していましたが、より本学の教育を明確化するために、改定し、本年度より実施しています。改革点は「ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)」に記した学修到達目標(学修成果)を「四つの観点」に基づいて記述したこと、「カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)」については、各授業科目の到達目標とディプロマ・ポリシーに記す学修到達目標(学修成果)との関連を「カリキュラムマップ」によって明示し、学修の段階や順序、教育課程の体系的な「履修マップ」によって明示したことなどです。是非「三つのポリシー」を熟読し、本学が目指す教育とその実施方法を理解の上、学修にいそんでいただきたいと念願しています。

この四月から、本学では、女子サッカー界で世界的に活躍された、元「なでしこジャパン」の宮本ともみさんを監督に迎え、女子サッカー部を創設しました。また、コーチには、宮本さんとともに「伊賀FCくノ一」に所属し、活躍された松窪裕子さんを迎えました。大学で学びながらサッカーを続けたい人の受け皿になり、将来の女子サッカー界を担える選手を育成したいと考えています。

多くの学生の皆さんの入部を心待ちにしています。

## 目次

学長のことば	1
学科紹介	
・子ども学科	2
・キャリア育成学科	
オフィスワークコース	3
介護福祉コース	4
学生生活・学生生活支援	
・学生自治会、新入生宿泊研修	5
・オーストラリア研修	
・キャリア支援センター	6
・女子サッカー部の創設	
図書館、保健室、カウ	
ンセリング室、高短フェア	7
地域連携施設	
・仏教教育研究センター	
育児文化研究センター	8
・キャリア研究センター	
介護福祉研究センター	9
着任、人事、同窓会近況	10
卒業生からのメッセージ	
貸借対照表	11
就職状況、編集後記	12



保育における不易と流行



子ども学科長  
千草 篤磨

本学科は一九六六年に保育科として開設されて以来、今年で五十年を数えることとなりました。今年の新入生は記念すべき第五十期生です。半世紀にわたる本学科の伝統は、仏教精神を柱に変わらぬ本質が脈々と学生に受け継がれてきています。

さて、本年四月からは保育の新しい制度がスタートしました。「子ども・子育て支援新制度」です。これは多様化する新たな保育ニーズに応えるための制度改革となるはずなのですが、現時点では「保育の質」を高めしていく視点が弱いように感じられています。

保育の分野は、時代と共に制度などが移り変わっていくことは必要なことですが、保育の本質は変わらずに受け継いでいくべきものです。松尾芭蕉の言葉にある「不易と流行」から学んでいきたいと考えています。

活動報告

一年生の高田幼・保の見学実習

入学して初めての実習であり、緊張した表情もみられましたが、子どもたちとふれあうなかで、子どもと関わることの楽しさや難しさを実感することができました。



オープンキャンパス

学生が主体となり、「授業&実習コーナー」「音楽&保育教材コーナー」「見学コーナー」を通して、高田短大の魅力を高

素敵な保育者になれるように



子ども学科二年  
山路 麻依

私は、幼稚園の頃から幼稚園の先生になりたいと思ひ、この大学に入学しました。そして、入学して一年が経ち、この一年間を振り返るとあつという間だったと感じました。素敵な保育者になるために、必死に勉強してきました。時にはピアノが

在校生に楽しく、そしてわかりやすく紹介しました。大変多くの高校生や保護者の方が参加してくれました。



春期就職特別講座

就職が内定した二年生から、これから就職活動を本格的に行なう一年生へ向けて体験談を話してもらいました。それは就職先を決めるまでの過程や、就職試験に向けての取り組みなど、後輩にぜひとも伝えておきたい内容でした。一年生は真剣な表情で熱心にメモを取りながら聞いていました。

うまく弾けず悩んだり、自分は保育者になれるのか不安になった時期もありましたが、友達や先生に支えられて、実習など乗り越えることができました。

二年生になり、残り学生生活も少なくなりました。素敵な保育者になれるように日々の勉強をしっかりと頑張っていきたいです。そして先生方や同じ夢を持つ仲間と一緒に楽しく過ごしていきたいと思います。

高田短期大学に入学して

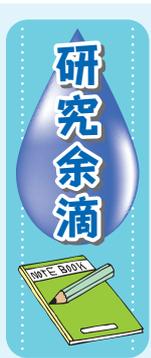


子ども学科一年  
西條 晶葉

入学して未だ少ししか経っていないのに、すごくたくさんのことを学びました。新しく自分の知らなかったことを学ぶ毎日はとても充実しています。これから実習が何度もあります。今自分が学んでいることがいかされる機会がたくさん出てくると

思います。その知識をいかせるように今のうちからひとつひとつ忘れないようにしっかりと勉強していかなければならないと思います。

また同じ夢を持つ仲間とたくさん出会うことができました。仲間と協力し合い、助け合いながら充実した日々を過ごしていきたいです。そして、よりたくさんの方の学び、立派な保育者になりたいです。



育児とスマートフォン

林 韓燮

近年、デジタル技術が進歩することによって人間の生活はますます便利になってきた。特にスマートフォンは人の生活においては欠かせないものとなっている。しかし、公共施設など多くの人が集まる場所でのマナー問題が指摘されている。これらのことはテレビや雑誌などでも多く取り上げられ、スマートフォンを使用するユーザーであれば、常識として認識しているはずであるが、スマートフォンを取り巻く問題は続く一方である。このような問題は育児にお

いても現れる。最近の親は、育児に関連するアプリを使うことが多い。アプリからの情報収集や子どもの成長記録をすることは、育児方法として問題ないと考える。しかし、子どもの感情を読み取るアプリを使ってコミュニケーションを取るなど、育児をする際にスマートフォンを濫用することがある。スマートフォンを介して子どもと向き合うことより、人の感性を大切に、アイコンタクトで子どもの心を読み取って親子の絆を築く必要があると考える。子どもは、スマートフォンではなく、親とかかわりたい、コミュニケーションを取りたいと望んでいるのであろう。いくら便利でもデジタル端末が人より右に出ることはない。

# キャリア 育成学科 オフィスワークコース



地域から評価される人材育成



キャリア育成学科長  
オフィスワークコース長  
杉浦 礼子

オフィスワークと介護福祉の二コースを擁するキャリア育成学科から、本年三月に一期生が卒業しました。オフィスワークコースは、昭和五九年に設置した教養学科の流れをくんでおり、三十回目の卒業生を輩出したこととなります。

本年度入学生を対象に実施したアンケートによると、オフィスワークコースの皆さんが本学に入学した理由は、「就職に有利」が最も多い結果を得ました。「就職の高短」と評価されるようになったのは、卒業生が「あなたでなければ」と地域社会から評価される人材となり、活躍してくれた積み重ねによるものだと思います。

在学生の皆さんには、「就職の高短」の歴史を繋ぐべく、キャリアをデザインし実現できる力をつけ、日々の勉学・自己研鑽に努めてもらいたいと思います。

## 活動報告

### 社会体験実習

「社会体験実習」を履修した五九人が、県内事業所二三法人で実習に参加しました。実習先に学生一人ひとりがアポイントメントを取り、履歴書を持参する事前訪問から始まりました。六四時間から八十時間の現場実習を終えた後は、お礼状を郵送したり、体験報告会で全員が発表したりしました。また、学生を受け入れてくださった実習先から十事業所十一名の方に参加いただき、本学にて社会体験実習反省会を実施しました。

### 租税教室

税務署および鈴鹿法人会と連携した「租税教室」に取り組みました。本学学生を対象に租税に関する

### 残り一年でさらなる成長を



キャリア育成学科  
オフィスワークコース二年  
松下 弥生

入学してから一年が経ちました。この一年間は資格取得に積極的に取り組んできました。資格については、出身高校が普通科だったので受験しておらず不安でしたが、指導してくださった先生や励ましあった友達のおかげもあり、秘書検定や簿記検定など多くの資格を取得するこ

る研修会を実施いただき、研修の結果、税務署から租税講師アシスタントとして承認された学生が、鈴鹿市内の小学校で実施された「小学生親子税金教室」の講師を務めたほか、「税を考える週間記念事業」にも参画しました。

### 電話応対コンクール

本学講堂で実施した電話応対コンクールに五八名が挑戦しました。昨年度のテーマは「言葉がむく信頼のさずな」でした。お客様の不安感や不信感を和らげ信頼を取り戻し、お客様とのさずなを確立する電話応対に取り組みました。

審査員は、学長、ビジネスマナーIIの科目担当教員、学科長、キャリア研究センター長のほか、株式会社百五銀行の方にも協力いただきました。

とができました。

二年生になってからは就職活動も本格的に始まってきました。合同企業説明会や就職セミナーを通して、自分の行きたい企業を見つけ、企業から「あなたでなければ」と言われるような人になりたいと思っています。

私はこの一年間でたくさん学び、成長することができました。残りの学生生活でさらに成長していけるように頑張っていきたいです。

### 高田短期大学に入学して



キャリア育成学科  
オフィスワークコース二年  
片岡 真優

もう入学して一か月が経ちますが、日々がとて早く感じます。入学当初は普通科高校出身ということもあり、商業高校出身の人に比べ資格や検定の受験はしておらず、知っている人も少なかったのが不安でした。しかし、指導してくれる先生は優しい人ばかりで、学校の友達と



### 最近のコンビニを見て

元々買いた物が好きだったから流通に関する研究をしているのか、流通に関する研究をしているから買いた物が好きなのか、どちらが先かわからないが、コンビニを回ることが私の趣味の一つである。新商品のお菓子や飲み物を探していると新しい発見が多くある。最近のコンビニで感じることは独自のPB(プライベートブランド)商品や自社商品が多く陳列されているということである。PB商品は安く、品質も昔に比べて向上しており、NB(ナショナルブランド)

過ごす日々も楽しく、今では充実した毎日を送っています。

そして、高田短期大学のオフィスワークコースでは、一年生の夏休みに社会体験実習があります。それまでにしっかりと社会体験学習で基本を学び、実習では社会に出たときに役立てるように、たくさん経験をしてきたいと思っています。そういった学習や経験を積み重ね、社会に出たときに「あなたでなければ」と必要とされるよう頑張りたいと思います。

（ンド）商品と遜色のないものも存在する。ただPB商品が多く陳列されている売り場にはどことなく味気なさを感じるの私だけだろうか。なぜだろうと考えるながら商品を眺めていたら、一つの答えに行き着いた。パッケージが統一されていることである。コカコーラにするかペプシコーラにするか等、商品を買うときに悩んだ経験をお持ちの方も多いと思うが、買いた物の楽しさは様々な商品を比較しながら、購入することにある。各企業の戦略的にPB商品を取り揃えることが利益率などの関係上、有利になるが、そればかりにすると消費者から買いた物の楽しさを奪ってしまうのではないだろうか。今後の小売企業のPB商品の動向に注目したい。

# キャリア 育成学科 介護福祉コース



求められる介護福祉士の養成を目指して

介護福祉コース 准教授

福田 洋子



平成二六年度は、高田短期大学が会場となり、「東海北陸ブロック教員研修会」が開催されました。そこで「今、求められる介護福祉士養成教育」をテーマに介護の専門性について活発な意見交換がなされました。

キャリア育成学科介護福祉コースでは、本来の「人間と社会」「介護」「こころとからだ」の三本柱に、平成二六年度から「医療的ケア」を加え、いかなる状況においても揺るぎない介護の専門性を追求したカリキュラム内容の充実を図り、求められる介護福祉士人材育成を行っています。

さらに施設で生活する高齢者の年齢が、百歳を超えている人も増えている昨今、高齢者と若者の生活感とのズレを、経験豊かな教師陣と共に、地域連携プロジェクトによる高齢者との交流等を通して、様々な生活体験を学べる工夫をしています。

これからも、地域社会の多様なニーズに即した、求められる介護福祉士の養成を目指していきます。

## 活動報告

キャリア育成学科介護福祉コースでは、介護福祉研究センターと連携し、地域の高齢者と交流する取り組みを行っています。今年一月には一年生が「特別養護老人ホーム報徳園」へ出かけ、入居者やデイサービス利用者としてレクリエーションを通して交流しました。「トントン相撲」などのゲームで競い合ったり触れ合ったりして和やかな



## 二年生になって



キャリア育成学科  
介護福祉コース二年  
増田 千咲

高田短期大学に入学して一年が経ちました。一年生では、宿泊研修や高短祭といった行事によりクラスの仲間との楽しい思い出を作ることができました。また介護実習では、実践的に学ぶと同時に、一人の方を受け持ち、介護過程の展開を行う際、机上では学び得なかった介護現場の生の苦労と難しさ、そして喜びを味わうことができました。施設の方のご

ひと時を過ごしました。また、二年生は「みえ長寿推進協力員津連絡会」の高齢者を大学に招き、椅子から車椅子への移乗・上着の着衣などの介助方法について、協力員の方々に実際に利用者役を体験していただきながらお互い学び合いました。参加された高齢者から、少しの介助動作のなかにも多くの気配りや声掛けが行われていることがわかった等のご意見をいただきました。学生は、普段より緊張感を持って臨むことができ多くの学びを得る機会となりました。



指導のもと、学んだ沢山の事は今後の自分にとってかけがえのない経験となりました。この経験を活かして、二年生では勉学やボランティア活動そして就職活動に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

残り一年という短い間ですが、悔いのないように学生生活を送りたいと思います。そして、就職した暁には、高齢者の想いに寄り添い、高齢者が心豊かな生活を安心して営むことができるように、心配りと笑顔をやさしい介護福祉士になりたいと思えます。

## 入学して



キャリア育成学科  
介護福祉コース一年  
現王園 千鶴

キャリア育成学科介護福祉コースに入学し、一ヶ月が経ちました。少人数のクラスだったため、最初は不安でいっぱいでしたが、宿泊研修などを通じクラスが一つになったと感じています。

高田短期大学には「やわらか

## 研究余滴



### 史実と伝承と信仰の間

金信 昌樹

宗祖親鸞聖人の流罪地新潟県の上越地方や中越地方、布教伝道を行った茨城県等に幾つかの奇瑞を伝える伝承が伝えられている。しかし、それらは、史実とは思えないものが大半である。

その一つに「川越名号」という伝承がある。筆を持った宗祖が川の対岸にいる軸物らしきものを持つた門弟に向かって筆を向けており、そこには「南無阿弥陀」と名号の文字が現われ出る、といった内容である。開祖や高僧の伝記等には偉人化する為に奇瑞靈驗話を伝えることがしばしば見られる。

心」というものがあります。私もこの言葉のように一日でもはやく、高齢者個々人の心を理解し、尊重し、寄り添えるような介護福祉士になりたいと思っています。

介護は私が思っていたよりもずっと奥が深く、シーツの敷き方一つをとっても学ぶ事が多いため、一人では難しいことが殆どです。しかし「やわらか心」を胸にクラス全員でやり遂げていきたいと思えます。

ところが、真宗は、この様な神憑りの現象を否定する。宗祖の思想、信仰から見てこのような話が生まれることはないからである。元来仏教自体非合理的な出来事に対しては批判的立場をとるのである。

この話は、何を伝えようとしているのであろうか。宗祖が明らかにした念仏の教え、仏の願心が時間、空間を超えて伝わることを現しているのである。

史実と伝承は相容れないことも多い。伝承は、人々の信仰的心情がなされたものといえるが、それが非合理だからといって伝承を切り捨ててよいかというと、それは断言できないものがある。非合理的な伝承の中にも伝えるべきことがあるからである。それを見る目こそ、聞法を通して築き上げられる信仰なのである。

# 学生自治会

こんにちは、私たちは学生自治会執行部の十二人です。

私たちの中には、去年からサポーターメンバーとして、この学生自治会を支えてくれていたメンバーもいますが、ほとんどのメンバーは今年から自治会執行部として活動させていただいています。先輩方からアドバイスをいただいで、少しですが自分たちの役割を覚えることが出来ました。これから先も先輩方から教えていただいた事を活かして自治会活動に励みたいと考えています。

私たちがそろって初めての活動は、一月に行われたTJC祭です。たくさんの方が参加し、チームによって個性豊かな衣装で盛り上げてくれました。それだけでなく、それぞれのチームが競い合い、とても盛り上がり、大きな大会となりました。

四月の新生ガイダンスは私たちを中心として初めて企画と進行を行いました。また、五月には学生同士の親睦を深めてもらうためにバーベキュー大会を開催しました。

そして十月には高田短期大学の一大イベントの大学祭があ



ります。今年は十月二四日(土)と二五日(日)に開催いたします。大学祭では皆さんの意見や要望を取り入れ、より良い大学祭にしていきたいと考えています。それだけでなく、地域の方とのふれあいや学生同士の交流も深めていきたいと考えています。皆さんのなかに楽しい思い出として一生残るものになるよう努力していきたいと思えます。まだまだ不安な面や至らぬところも多々ございますが、皆さんの大学生活を良いものにしていと考えておりますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。

# 平成27年度 新入生宿泊研修

学務委員長 福西 朋子

毎年恒例の新入生宿泊研修(四月三十日(木)、五月一日(金))が白山ヴィレッジゴルフ倶楽部で行われました。晴天に恵まれ新緑が清々しい二日間となりました。この行事は、新入生オリエンテーションの締めくくりとして行われ、高短生としての自覚と仲間との協調性、学生・教員相互の親睦を目的としています。学長講話を含む開講式に始まり、学科研修やパターゴルフを実施しました。

## 学科研修

### ○子ども学科

一日目の午前の「すてきな保育者になるために」では、手遊びや歌遊びの表現活動を通して学生同士の触れ合いを楽しみ、交流をしました。二日目は、毎年恒例の「つくって、あそんで、みせて二〇一五」でした。ゼミ毎に子どもをテーマに、いかにダンスを振り付け衣装製作するかという活動です。どのゼミもアイデア・工夫満載で、その成果が披露されました。発表会にはゼミ教員もダンスに加わり、お祭りのような盛り上がり



りでした。学生相互の一体感やチームワークよく取り組む大切さを感じとった二日間でした。

### ○キャリア育成学科

「先生にインタビュー」をテーマにオフィスワーク、介護福祉両コース合同で行いました。事前に考えてきた学科教員についての質問を持ち寄り、グループごとにインタビューをしました。様々な経験から現在の職に就いている教員をロールモデルに、仕事面での質問からプライベートの過ごし方まで、大学では見えない素顔に迫る質問をインタビュしました。その後、全員の前でグループごとに報告をしました。始めは緊張していた学生も役割分担をするあたり

から、緊張も徐々にほぐれ、和気あいあい意見交換が行われていました。夕食前のひとは、各コース別研修を行い、コースでの親睦を深めました。

### パターゴルフ大会

二日間とも絶好のゴルフ日和。清々しい気分でも学科ともパターゴルフを楽しみました。ゼミ別対抗で、賞品をかけて真剣にプレーをしました。一つのボールを交代で打っていくことでチームワークも良くなり、初めてクラブを持つ学生にアドバイスをしたり、応援する声が大空に響いていました。中には、ホールインワンをした学生もあり、誇らしげな笑顔があふれていました。



## オーストラリアで学んだこと

子ども学科二年 渡部恵理加

私にとって今回の海外研修が初めての海外旅行だった。英語も話せない上にとっても緊張した状態で参加したが、オーストラリアでは多くの人とコミュニケーションをとることができたとと思う。学校へ行ったり、ホームステイをしたりすることで本当に沢山のことを学んだ。

例えば、日本の学校とオーストラリアの学校の違いについてだ。まず初めに受けた印象は、学校の規則が厳しすぎないことだった。日本では、学生が髪の毛を染めていたり、ピアスをしていたり、化粧をしていたりすることは規則違反になるが、オーストラリアではそれがなかった。また、学生の様子も日本とは違いとても勉強熱心な学生が多かった。みんながとても生き生きとして見えた。変に厳しい規則がなく、自分が学びたいことを学べる環境があるからこそ、そういう姿になるのだらうと感じた。

この他にも、英語を話す楽しさを学んだ。今までの私は、英



語を学んでも使う場所もないし、使う必要もないし、勉強しても楽しくないと感じていたが、今回初めて日本語が通じない環境に身を置いて、英語の必要性や、言葉が伝わったときの喜びを知ることができたと思う。また同時に、英語というものに沢山の可能性を感じた。そして何より、英語を話すことができるようになるれば、英語を母国語とする人たちとの会話ができれば、自分の交流関係やこれからの進路の可能性も大きく広がるということに気付くことができた。

本当に、心からこの海外研修に参加してよかったと思う。自分の中の世界が大きく広がったことと同時に、日本に帰ってきてもまだ心がわくわくどきどきしているくらいの感動を味わえ



英語研修担当 畠山義啓

研修先のドロマナカレッジのさよならパーティで、高田短期大学の二十年目の訪問であることを知らされ、記念の立派な楯を贈られた。平成五年に始まった研修で、研修先をラトロップ大学からドロマナカレッジへ変更はしたが、通算三百名以上の学生が参加してきた研修であることを改めて知るきっかけとなった。



たと思う。私の気持ちの変化ももちろん大きな収穫だったと思うが何よりもホストファミリーとの出会いが私にとって一番価値のあるものになった。もう一度ホストファミリーに会い、沢山の会話をするという目標もできた。本当に貴重な十三日間を過ごすことができたと思う。

## ◇ キャリア支援センター ◇

キャリア支援センター長 土肥稔治

キャリア支援センターは2号館1階の学生ホールに隣接して設置されています。高短生の進路・就職に関する情報がたくさん集まっている場所であると同時に、キャリアカウンセラーやキャリアアドバイザーなどのスタッフが、履歴書やエントリーシートの添削をはじめ面接練習、就職情報の入手、就職活動の悩み相談など、皆さんの自分探しや就職活動を支援しています。

短大生の皆さんの就職活動は1年生の後半から始まり、2年生になったとたん本格的にスタートです。本年度から、経済団体等の要請により就職活動が後ろ倒しとなり、3月に広報活動解禁、8月に採用活動解禁、10月に内定解禁というスケジュールになっています。本年度の様子では、このようなスケジュールで採用活動を行っている企業は大手のごく一部であり、他の企業については、少しは遅れているものこれまでとあまり変わりなく動いているようです。

就職活動は、皆さんの今後の生活を定める重要な活動です。これまでの学生生活で修得した知識や技能を活かし、自らの能力や興味・関心

にあった就職先を探す活動です。加えて、仕事は生活の糧を得るという重要な要素がありますが、同時に働き甲斐があるかどうかという人生の潤いを求める要素も含んでいます。従って、就職先を決めていくということは大変重要な活動であるということ認識してもらいたいものです。

### ボランティア活動支援室

ボランティア活動支援室は、ボランティア活動を通して学生時代でしか体験できない貴重な学びの機会を得るお手伝いをしています。場所はキャリア支援センターと保健室の間にあります。情報は専用掲示板にて案内していますので、ぜひボランティア活動支援室を訪ねてきてください。



## 女子サッカー部の創設

女子サッカー部監督 宮本ともみ

このたび高田短期大学に女子サッカー部が創設されました。活動内容は週に三、四日ほどサッカーに必要な基本技術や戦術のトレーニングをし、まずは三重県女子サッカーリーグに参戦します。リーグ戦に加えて週末などを利用して、トレーニングマッチで育成や強化を図っていき、大学選手権や皇后杯（日本女子サッカー選手権）などの、全国大会への出場を目指していきたいと思っています。

二〇二〇年に東京五輪、翌年には三重県で国民体育大会が開催され、スポーツがこれからますます注目されます。

これまでは、高校卒業後にサッカーをやりたくても受け皿がなく、辞めざるをえない状況でした。この高田短大に三重県で初の大学・短大女子サッカー部が出来たことで、将来設計をしながらサッカーを続けていくことが可能になりました。短大内の活性化や地域貢献につながることを期待しています。



## 図書館

学習を支援する図書館

図書館長 鷲尾 敦

新しい知識を得たり、知らない世界や考え方を学んだり、テーマの探究のため本を選び、レポート作成の準備をしたりする場が図書館。そこでは音を立てず静かに本と向き合う。話すなんてとんでもない。

ところが、話してもいい、いや話すことが大事という場が図書館にあります。大学図書館には、学生の学習を支援する機能が求められますが、その学習の考え方が変化してきたのです。知識を得るだけに終わらず、コミュニケーションや体験の中から知識を結びつけ発展させていくアクティブラーニングという考え方です。本学図書館もそれに対応し、グループで討論しながら学習を進めることができるグループワークエリアを中心とした「ラーニング・コモンズ」という空間を用意しました。

学生の皆さんには、対話することで学習を活性化したいか、じっくり本と向き合いたいのか、学習目的に応じて図書館の各エリアを活用して頂きたい。

最後に図書館の運営を手伝ってくれる「図書館メイト」を募集しています。一緒により良い図書館にしていきたいよう！

## 保健室

保健室 富永礼子

保健室では、皆さんが心身ともに健康で充実した学生生活を送れるようにお手伝いをしています。皆さんが学校で体調が悪くなったときやけがをしたとき、応急処置をします。ベッドやソファアで休養もできます。

また、皆さんが自分のところや身体について知り、より健康になるためにはどうすればいいかを一緒に考えていきます。自分の健康を自分のこととして考えられるようになってください。

## カウンセリング室

カウンセリング室長 千草篤鷹

睡眠不足や過労などで身体の状態が不調になると同じように、心も様々なストレスで疲れてくると不調になり、勉強する気がなくなったり、人と話をするのが嫌になったりします。

このようにストレスを受けて気持ち落ち込んだり、イライラするのは誰にでもあることです。殆どの症状は風邪や発熱と同様に時間がたつと回復し、心の健康を取り戻していきます。しかし、心の不調がなかなか治まらずに長引いたり、特に理

保健室からは、大切なお知らせや健康に関する情報をメールや掲示板等でお知らせしますので、必ず見て自分で行動に移してください。

また、こころや身体のこと、対人関係や将来のこと、何か相談したいと思ったときには、保健室に来てください。保健室で皆さんが話してくれた内容は、皆さんの了解を得ずに誰かに伝えることはありません。安心して相談してください。保健室でカウンセリングの予約をすることもできます。

保健室直通  
Tel〇五九一二五三一七〇三一

由もないのに気持ちが不安定になるような時は、心の病気かもしれないかもしれません。特に青年期にはよく見られることです。

このような時は一人で悩まずに、早めに専門家に相談することが大切です。本学カウンセリング室では、二名の経験豊かなカウンセラーが対応しています。気軽に二号館二階の東側にあるカウンセリング室か、保健室で予約をして下さい。

また、カウンセリング室の前には、利用する際の説明を書いたリーフレットが置いてありますので、自由に手にとって見て下さい。

## 高短フェア

入試広報委員長 鷲尾 敦

平成二十七年三月七日(土)に、ブレ・オープンキャンパス「高短フェア」を開催しました。

高校一、二年生と保護者の方を対象とした「高短フェア」は、今年で三回目の開催となり、大勢の高校生で賑わいました。

当日は、全体進行を自治会学生が務め、各ブースの運営や進行は各学科の学生たちが務めました。子ども学科では「赤ちゃんのお世話体験」「ダンボールのドームを作ろう」、キャリア育成学科オフィスワークコースでは、「タブレットPCでWindows体験」「クイズで学ぶトリビア」「相談カフェ」、同学科介護福祉コースでは「スポーツレクリエーション」が運営されました。来場した高校生は、各ブースの体験をしながら、各学科・コースでどの様なことが学べるのかを知ることができたように思います。当日は、スタンプラリーやお菓子のつかみ取りもあり、楽しい雰囲気の中でフェアを終えることができました。

来春の高短フェアは、平成二八年三月二日(土)に開催します。また、オープンキャンパスは六月二三日(土)、七月二二日(日)に開催します。

仏教教育研究センター

センター長 金信昌樹

○仏教基礎講座

仏教基礎講座は、高田派僧侶の育成だけでなく地域の方々への生涯学習に資することを目的として一般にも公開する高田本山寄附講座としての講座です。仏教学、真宗学、仏教史、真宗史、高田派の歴史と法宝物の五講座からなります。今年度で四回目を迎え、昨年も多くの受講者が聴講に來られました。今年度は、八月十七日(月)から二十一日(金)の五日間にわたって開講します。聴講は無料です。受講を希望される方は事前に申し込む必要があります。

○仏教専門講座

高田本山寄附講座仏教専門講座は、昨年度で第一クールを終え、今年度は第二クールを迎えます。

この講座は、仏教や真宗についての専門知識を習得し更なる生涯教育に資して地域に貢献できることや高田派の僧侶に対して専門的な学習の場を提供することを目的として開講するものです。二年間で全十科目を開講します。今年度は前半の講座になり、二十五年度と同じ講座内容です。八月と三月を除いた毎月一回、基本的に最終金曜

日に開講しています。聴講は無料ですが、今年度の受講の申し込みは三月末に締め切りました。今年度の開講講座と担当者は、次の通りです。

仏教学概説(新研究員)、仏教学講読I(安藤研究員)、高田の宗風(藤田研究員)、真宗学講読I(松山主任研究員)、真宗学講読II(佐波研究員)。

講義時間は、本学の授業時間に合わせて、九時に第一講座を開始し十七時五十分第五講座を終了します。

○公開講座

今年度のセンターの公開講座は次の日程で行います。

・第一回講座

日時：六月三十日(火)

十三時三十分～十五時三十分

講師：藤田正知 研究員

講題：「真慧上人のご生涯と室町・戦国時代の教化」

会場：真宗高田派宗務院二階

第一会議室

・第二回講座

日時：十一月十日(火)

十三時三十分～十五時三十分

講師：太田光俊 三重県総合博物館学芸員

講題：「室町・戦国時代の津の町と高田派寺院」

会場：真宗高田派宗務院二階

第一会議室

何れも聴講無料です。

○現在、当センターでは、中興の祖と仰がれる専修寺第十世真慧上人の著『顕正義鈔』を中心とした研究を行い、総合的な学術書の出版に向けて鋭意活動を行っています。

又、当センターが所蔵する智慧光院旧蔵の寄贈書籍の所在・登録の再確認と調書を作成し、料紙・綴じ糸破損等箇所に対する補修作業を行っています。いずれは寄贈図書目録を作成できるように図りたいと思っています。

育児文化研究センター

センター長 鷲見裕子

本学育児文化研究センターは平成十六年開設より地域社会への貢献と連携をめざし、育児文化研究と事業活動に取り組みしてきました。今年度は新たな子育て支援制度がスタートしました。地域との連携を強め、保育者養成短期大学の付属施設として特色ある研究や事業活動の充実により一層努めて参ります。

\*研究活動

育児教育、子育て問題、児童文化等の研究を年三回開催の定例研究会やグループ研究により進めていきます。また、研究紀要「育児文化研究」を発行します。

\*地域開放事業

「おやこひろば たかたん」子育て家庭の支援の場として、基本月・木曜日の十時から十二時に本学育児文化室で開催する子育て広場は五年目を迎えました。子育ての楽しさや喜びをとにも分かち合える場、子育てについて互いに学べる場をめざして運営に努めています。また、研究員による子育て講座を月一回開催しています。



\*子育て相談

「発達」「食」「健康」「子育て・教育」に関する心配や不安を相談できる本学教員による個別対応の子育て相談を予約制で行っています。

\*主催講演会

今年度は十二月十二日(土)に、大豆生田啓友氏を講師に「保育

の質を高めるために」をテーマにお話いただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

\*地域連携子育て支援事業

地域団体や行政との連携協働による子育て支援活動に参画します。また、津市子育て広場支援者の交流会や研修会、保護者研修会を企画・運営します。

\*学生支援事業

学生が「子育て応援隊」として地域や学内で参加するボランティア活動が、学生の保育の学びにつながるサポートを行っています。



○おやこひろばや子育て講座、子育て相談の詳細や開催日程、予約等については本学ホームページをご確認ください。

## キャリア研究センター

センター長 杉浦 礼子  
平成二六年六月新規発足

平成二六年六月、高田短期大学地域連携施設に「キャリア研究センター」を発足しました。人材育成、雇用・労働問題、地域社会等に関する研究を行うことで社会と連携し、地域貢献ならびにキャリア教育に寄与することを目的に発足したセンターです。

### 活動報告

○ホームカミングデー

高短祭開催日（平成二六年十月二六日）に「ホームカミングデー」を開催しました。当センターでは、次年度以降リカレント教育を実施します。発足初年度は、卒業生が求めている教育内容がどのようなものか、ホームカミングデーに参加した卒業生から要望を聞き取ったりもしました。

○高短One dayセミナー

平成二七年二月七日、地域の高校生を対象に、「高短One dayセミナー」を開催しました。望ましいコミュニケーションのあり方やチームで協力することの大切さについて体験から学べるセミナーとなりました。

また、本学在學生と交流し、学生生活等について話を聞くこ

とができる場も設けました。

○パソコン教室

本学の教育施設を地域に開放し、高齢者の方を対象とした「シニアパソコン教室」「パソコンの魅力を伝えよう講座」就労を希望している方を対象とした「これからの職場で活用できるWord・Excel入門」を実施しました。



写真：高短Onedayセミナーの様子



写真：株式会社百五銀行および株式会社百五経済研究所と連携協定を締結

### 本年度の事業予定

今後、在學生および卒業生に対するキャリア教育・リカレント教育のほか地域と連携しながら様々な事業を展開します。事業予定は、「高田短期大学キャリア研究センター」公式ホームページでご確認ください。

(<http://www.takada-jc.ac.jp/career/schedule.html>)

### 介護福祉研究センター

主任研究員 徳山 貴英

平成二六年度に新規開設されました高田短期大学介護福祉研究センターは本学付属の地域連携施設として、介護福祉、高齢者問題、障害者問題等に関する研究を行うとともに、地域社会への貢献、連携をめざし、地域福祉に寄与することを目的としています。

昨年度は初年度でありながらも、様々な事業について実施することができました。これは地域の皆さまのご理解と学内外の研究員のご協力、さらには地域の福祉施設のご支援があったからこそ事業を展開することができたと思っております。

今年度も前年度の事業を踏襲し、一般の方を対象とした事業を実施していきますので、本学

ホームページの事業案内をご確認いただき、ご参加いただければ幸いです。

＊平成二七年度の事業内容

・高校生を対象とした介護福祉啓発活動

今年度は七月二四日（金）に開催します。県内在住の高校生を対象とし、県内の特別養護老人ホームを見学し、介護現場を体験する企画です。



・高齢者を対象とした介護福祉啓発活動

地域の高齢者を対象とした本学で開催する体験型の講座となっております。学生とともに様々な介護を体験することができます。

・介護職員キャリアアップ講座  
介護職員を対象とした講座を

行います。本センター研究員が講師として、研修を希望する地域の施設へ出向き、講義を行います。

・介護福祉研究セミナー

今年度は計二回実施します。第一回のセミナーは本学にて六月二一日（日）に開催します。第二回のセミナーは十二月を予定しています。一般の方や卒業生を対象としています。

・定例研究会

学内外の研究員が専門分野の研究発表を行う場となっております。一般の方も参加可能です。



介護福祉研究センターは地域社会への貢献、連携を図ってきたいと思っております。今後ともご支援のほどよろしくお願いたします。

## 着任のみなさん

### 再スタートにあたって



子ども学科  
小菅千恵子

四月より再び子ども学科で勤務させていただくことになり、身の引き締まる思いでいます。今年度の授業科目は、教育・保育課程論、保育実習ⅠⅡ、保育実習指導ⅠⅡを担当させていただきます。保育現場での経験を活かした授業内容にするための工夫、また、学生の皆さんに子どもへの心に深く寄り添い、保育をするとはどのようにしたらよいのかその心を伝えるなど、人間性豊かな保育者の育成に力を注ぎたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



キャリア支援センター  
土肥 稔治

**皆さんの就職活動を応援します**  
四月よりキャリア支援センター長として、学生の皆さんの就職活動を支援させていただくことになりました。昨年までは、県立高校の校長として学校運営

を行ってまいりましたので、高校生と直接触れ合う機会が少なく寂しい思いをしていました。今後、皆さんとお話できることを楽しみにしています。キャリア支援センターは皆さんの就職支援を行うところですが、就職に関する悩み事などの相談に乗る場所でもあります。皆さんの新たな人生のスタートを応援します。どうぞよろしくお願いたします。



総務課  
藤澤 周次

**リスタート**  
四月より総務課でお世話になっております。短大に異動になり一ヶ月が経過しましたが、毎日とても忙しく一日があつという間に過ぎていっています。中高や本部で経験した事を短大で生かせるように頑張っていきたいと思えます。ご迷惑をおかけすると思いますが今後ともよろしくお願いたします。



女子サッカー部監督  
宮本 ともみ

**新しい人生のスタートを迎えて**  
この四月より、高田短期大学

に女子サッカー部が創部され、監督に就任いたしました宮本ともみです。出身は神奈川県相模原市です。

高短の女子サッカー部は三重県内では初の大学、短大の女子チームとなります。私がサッカーを始めたのは小学校一年生のときで、選手歴は二七年にもなりますが、指導者歴は今年が一年目です。不安もありますが、ひとつのチームをつくり、育てていくということを大きな楽しみとして、これから一生懸命頑張っていきたいと思えます。



**女子サッカー部 創部にあたって**  
女子サッカー部コーチ  
松窪 裕子

四月より女子サッカー部コーチとして高田短期大学にお世話になることになりました。女子サッカー部の創部にあたりご協力していただいた皆様に感謝申し上げます。クラブ活動を通して学生の皆さんの学校生活が有意義な時間となるように一緒に活動していきたいと思っております。サッカーに興味がある学生の皆さんも、まだ興味のない学生の皆さんもぜひ一緒に活動し

ましよう。何かご質問等ありましたらお気軽に相談してください。



**子どもたちの笑顔のために**  
育児文化研究センター  
大野 由佳

四月から育児文化研究センターでお世話になっております。三人の子どもの母親として、地域の子育て支援のボランティアをするようになり十年余りの月日が経ちました。そしてこの度、支援者として津市委託事業である「つながりひろば交流会」等の開催に伴う事務を担わせていただくことになりました。津市の子育て支援が充実するよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

### 《人事》

#### ○退職

助教 秋田 郁  
助教 大野 僚

#### ○異動

事務局総務課総務係  
大川 翔平

## 同窓会の近況

北端 一子

久しぶりに、風邪をひいて医者へ行きました。咳が出て声まで変わって咳き上げると苦しくなり自己流で治すことが出来なくなりました。熱はなく食事もおいしく食べられるので薬を飲んでみると少しずつ楽になりました。いつまでも若い気で過ごしていても、身体は年相応に老化していく無理がきかなくなりました。気を付けて生活しなければいけませんね。

さて同窓会短大大会第一回の役員会が、今年五月の半ばになりました。職場から直接来てくれる方や家の事を済ませてきてくれる方々ですが、全員が揃うには夜になります。午後七時高田短大会議室に集合です。学校の事、家族の事、職場の事、教育現場の事、社会情勢の事、話題は多く始まるまでに井戸端会議のようです。議題は、高短祭参加について、各学年の同窓会実施への金銭援助について、各理事への報告についてなどを話し合います。高短祭に同窓会からバザーをします。見に来てください。

# 卒業生からの メッセージ

- ①勤務先
- ②就職して嬉しかったこと、辛かったこと
- ③将来の夢
- ④高田短大とは
- ⑤先輩へのメッセージ

夢であった保育士になって

子ども学科 平成二六年度卒

小野 清香



①津市立白山保育園  
②子どもたちの素敵な笑顔や日々の小さな成長を近くで見られ、そしてその喜びを共有していることです。保育士としては未熟な部分もあり悩むことばかりですが、「先生大好き!」と笑顔で言ってくれた時は悩みも吹き飛ばすくらい嬉しく、子どもは素晴らしい存在であると感じています。③今は将来の夢はなく、とにかく日々の保育を精一杯勤めることを目標にして取り組んでいます。④今、自分がなりたい保育士像や将来の夢を見つけていけたらと考えています。⑤たくさんのことを学び、経験し、自分の一方的な考えだけでなく様々な面からの考えや見方を知ることのできた場所です。また、友達や先生方に支えられた思い出深い場所でもあります。⑥悩むこと

もあると思いますが、しっかりと考え納得のいく答えを探し、夢に向かって一生懸命頑張ってください。

新たな始まりに向けて

キャリア育成学科オフィスワークコース

平成二六年度卒

野村 香菜



①鈴鹿農業協同組合  
②多くのお客さまに「ありがとう」

と笑みを浮かべながら声を掛けて頂いたことです。お客さまの声はとても嬉しくやりがいを感じます。辛かったことは、覚えることが多く一度慌ててしまうことと後の操作も焦ってしまいうことです。今後は迅速に正確に操作が出来よう業務内容を覚え焦らず対応していきたいと思えます。③私は「あなたでなければ」と必要とされる窓口テラーになりたいです。多くの知識を身に付けお客さまに提供出来るよう業務に取り組んでいきます。④高田短大は夢を与えてくれる大学です。就職活動で悩んだ事もありましたが、先生方やキャリア支援の方に沢山支えて頂きなりたい自分になる事が出来ました。⑤二年間は本当にあっという間です。社会人になるまでに

いろいろな見方や捉え方をして、学び、遊び、後悔のない学生生活を送ってください。

社会人になった今

キャリア育成学科介護福祉コース

平成二六年度卒

佐藤 優里



①社会福祉法人ケアフル亀山 亀寿苑  
②介助方法は利用者

の方のその日の体調によって異なるので、その日の利用者の方の様子などを把握し状態にあった介助を行うことが大変ですが、利用者の方からの「ありがとう」という言葉や会話の中での笑顔を見るだけで自分もとても嬉しい気持ちになります。③利用者の方に寄り添いその方にあった介護を考えることができる介護福祉士になりたいです。④生徒と先生の距離が近く、困ったことがあっても気軽に相談することが出来る環境が整っていると思います。また専門的なことを学ぶための設備もしっかりしておりとても勉強しやすい学校だと思っています。⑤二年間という短い期間の中で、自分がやりたいことや学びたいことを積極的に自分に行動し充実した生活を送ってください。

## 公 告

平成 26 年度における学校法人高田学園の決算は次のとおりですので、当学園寄附行為第 40 条の規定に基づき公告いたします。

学校法人 高田学園  
(単位: 円)

### 貸借対照表 (平成 27 年 3 月 31 日)

資産の部				負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	(7,779,641,206)	(7,687,256,586)	(92,384,620)	固定負債	(235,994,999)	(244,630,270)	(△8,635,271)
有形 固定 資産	(6,485,890,361)	(6,696,177,361)	(△210,287,000)	退職給与引当金	235,994,999	244,630,270	△8,635,271
土 地	865,121,227	865,121,227	0	流動負債	(430,562,292)	(417,321,891)	(13,240,401)
建 物	4,495,052,277	4,666,572,309	△171,520,032	未払金	54,029,040	39,933,461	14,095,579
構築物	736,603,458	784,720,791	△48,117,333	前受金	291,633,796	287,628,796	4,005,000
教育研究用機器備品	109,405,394	124,177,878	△14,772,484	預り金	25,720,171	28,648,701	△2,928,530
その他の機器備品	7,502,007	6,064,278	1,437,729	修学旅行費預り金	53,559,241	55,566,508	△2,007,267
図 書	216,315,865	213,315,900	2,999,965	卒業諸費預り金	5,620,044	5,544,425	75,619
車 輛	16,027,440	6,285,500	9,741,940	負債の部合計	(666,557,291)	(661,952,161)	(4,605,130)
学苑林	29,919,478	29,919,478	0	基本金の部			
建設仮勘定	9,943,215	0	9,943,215	科 目	本年度末	前年度末	増 減
その他の固定資産	(1,293,750,845)	(991,079,225)	(302,671,620)	第1号 基本金	11,125,969,655	11,079,342,521	46,627,134
借地権	2,257,500	2,257,500	0	第4号 基本金	181,000,000	181,000,000	0
電話加入権	1,285,980	1,285,980	0	基本金の部合計	(11,306,969,655)	(11,260,342,521)	(46,627,134)
施設利用権	740,460	821,170	△80,710	消費収支差額の部			
有価証券	2,853,674	2,853,674	0	科 目	本年度末	前年度末	増 減
差入れ保証金	350,000	350,000	0	翌年度繰越消費支出超過額	3,668,282,743	3,702,676,396	34,393,653
退職給与引当特定資産	261,008,500	261,008,500	0	消費収支差額の部合計	(△3,668,282,743)	(△3,702,676,396)	(34,393,653)
施設設備補充引当特定資産	937,450,000	594,750,000	342,700,000	科 目	本年度末	前年度末	増 減
長期火災保険特定資産	76,486,100	112,478,340	△35,992,240	負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	(8,305,244,203)	(8,219,618,286)	(85,625,917)
長期前払金	11,318,631	15,274,061	△3,955,430				
流動資産	(525,602,997)	(532,361,700)	(△6,758,703)				
現金預金	313,865,246	243,439,560	70,425,686				
未収入金	124,524,268	189,638,936	△65,114,668				
立替金	27,669,668	37,736,671	△10,067,003				
修学旅行費預り資産	53,559,241	55,566,508	△2,007,267				
卒業諸費預り資産	5,620,044	5,544,425	75,619				
前払金	364,530	435,600	△71,070				
資産の部合計	(8,305,244,203)	(8,219,618,286)	(85,625,917)				

# 平成26年度卒業生 就職先等一覧

## 子ども学科

### ◆公立幼稚園

津市立安濃幼稚園、松阪市立豊田幼稚園、松阪市立松江幼稚園

### ◆公立保育園

四日市市立笹川保育園、四日市市立塩浜西保育園、孤野町立竹永幼稚園、亀山市立神辺保育園、鈴鹿市立神戸保育所、鈴鹿市立算所保育所、鈴鹿市立玉垣保育所、津市立白山保育園、津市立立誠保育園、松阪市立白鳩保育園、松阪市立第二保育園、松阪市立西保育園、松阪市立三雲北保育園、松阪市立やまなみ保育園、松阪市立若草保育園、明和町立なりひら保育所、玉城町立有田保育所、玉城町立丸保育所、多気町立勢和保育園、大台町立川添保育園、大台町立宮川保育園、伊勢市立きらら館、鳥羽市立答志保育所、志摩市立浜島保育所、御浜町立阿田和保育園

### ◆公立こども園

明和町立みょうじょうこども園、伊勢市立しづくこども園

### ◆私立幼稚園

あおい幼稚園、桜あおい幼稚園、梅村幼稚園、大川幼稚園、幼児舎、第二さくら幼稚園、白子ひかり幼稚園、すずか幼稚園、清泉幼稚園、津田第一幼稚園、津田三滝幼稚園、富田文化幼稚園、藤幼稚園、ふたば幼稚園、まきば幼稚園、みずきが丘道伯幼稚園、ゆたか幼稚園

### ◆私立保育園

あけぼの保育園、いずみ保育園、い

そやま保育園、えがお保育園、えがお志摩保育園、大谷台保育園、尾鷲第四保育園、風の丘藤水保育園、風の子藤水保育園、片田保育園、亀山愛児園、神戸保育園、久保保育園、桑名東医療センター院内保育所、わかば保育園、公園西保育園、神原白鳳病院内保育所、志登茂保育園、しまの杜保育園、白鳩保育園、新木保育園(新宮市)、第二石薬師保育園、第二しまの杜保育園、第二長太の浦保育園、第二はなこま保育園、高田保育園、多度保育園、津カトリック保育園、つ保育園、つばみ保育園、東部保育園、豊野保育園、ドリームハウス保育園、ドレミ保育園(名古屋市)、ながさわ保育園、中瀬城東保育園(伊賀市)、なかよし保育所、なのはな保育園、桔梗が丘保育園、にじいろ保育園、上石神井(練馬区)、野登ルンビニ園、ハートピア保育園、日永保育園、日の本保育園、ひばり保育園、ひばり保育園(川越町)、藤水保育園、ほうりん保育園、松阪仏教愛護園、三重愛育保育園、三重大学病院内さつき保育園、三重保育園、三三保育園、みそら保育園、南山保育園(瀬戸市)、みのり保育所、みらいの森ゆたか園、明和ゆたか保育園、杜の街ゆたか保育園、ゆたか保育園、四日市厚生会保育園、ローズ幼児園、わかすき保育園、若葉保育園

### ◆私立こども園

暁の星こども園

### ◆児童養護施設等

鈴鹿里山学院、里山学院乳児院、聖の家、真盛学園、八波寮(常滑市)

### ◆障害・老人施設

三重済美学院、こどもライフサポートセンターはーと

### ◆企業

岩尾こどもクリニック(株)、中勢ゴム(株)、ジェイ・ピー・アイ(有)、シャトー

### キャリア育成学科 (オフィスワークコース)

### ◆建設業

秀盛機工(株)、(株)リョーケン

### ◆製造業

井村屋グループ(株)、(株)ジェイテクト、カヤバシステムシナリー(株)、橋本電子工業(株)、(株)ホーペック、松阪段ボール工業(株)、三重金属工業(株)、(株)リアライズ、(有)ヤマト技研

### ◆電気・ガス・熱供給・水道業

朝日ガスエナジー(株)

### ◆情報通信業

(株)エクサソリューションズ

### ◆卸売業・小売業

旭工機(株)、(株)赤塚植物園、(株)伊勢志摩中央市場ザ・朝市、(株)エムワン、(株)クスハラ自動車、(株)パレモ(NOWHERE)、(株)ミツイバウマテリアル(株)、メディアカル一光、三洋自動車(株)、トヨタカローラ三重(株)、ネットトヨタノヴェル三重(株)、(株)ホンダカース三重、三重いすゞ自動車(株)、三重三菱自動車販売(株)

### ◆金融業・保険業

(株)百五銀行、(株)三重銀行、北伊勢上野信用金庫、紀北信用金庫

### ◆不動産業・物品賃貸業

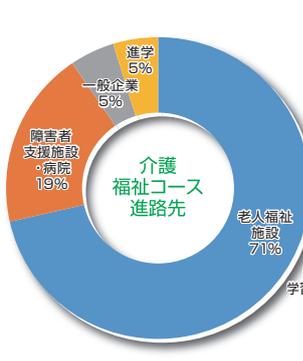
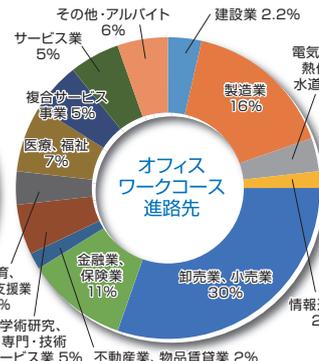
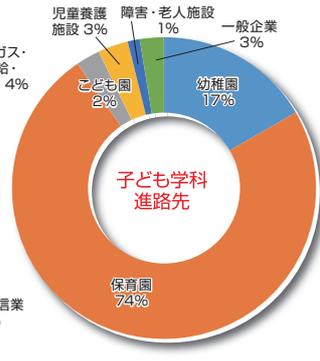
(株)ミナミ近畿

### ◆学術研究・専門・技術サービス業

津青色申告会、尾崎省税理士事務所(株)、百五経済研究所、前川品税理士事務所

### ◆教育・学習支援業

(株)エイコス、鈴鹿医療科学大学事務職



### ◆医療・福祉

丸岡医院、みえスマイル眼科、村瀬病院、わかたに眼科

### ◆複合サービス事業

J A 鈴鹿、J A 三重中央、J A 松阪メモリアルホールリーフル

### ◆サービス業

イセツト(株)、(株)トヨタレンタリース三重

### キャリア育成学科(介護福祉コース)

嘉祥苑、亀寿苑、吉祥苑、鈴の丘、豊野みかんの里、いすず苑(特養)、ふたみシルバークア豊壽園、高田光寿園、グループホーム渚苑、寿泉会、富田浜浜つこ介護保険施設グループ、明和苑(株)、菜のはな入浴介護(社福)夢の郷

### ◆障害者支援施設

聖マツヤ・心豊苑

### ◆病院

神原白鳳病院(事務)

### ◆企業

鈴鹿インター(株)

### ◆進学

ヤマノエステティック総合学院

### ◆編集後記

皆様のご協力によりまして高田短期大学通信第五十号発行の運びとなりました。今号は、「女子サッカー部の創設」「キャリア研究センター発足」等を掲載いたしました。今後ともご支援を賜りますようお願いいたします。

※「高田短期大学通信」題字デザインは、子ども学科・年長谷川緋音さんの応募作品を元に作成しました。